

攻めに転じた「新素形材産業ビジョン」

金型産業などの素形材産業の重要性は昔から言われてきた。モノづくりは素形材産業がなければ成り立たないことは間違いない。しかしながら、近年の急激なグローバル経済の進展は、その重要な日本の素形材産業を根底から崩壊させる流れになっている。そこで経済産業省製造産業局素形材産業室はグローバル経済下でも勝ち残り、発展させるための「新素形材産業ビジョン」を作成し2013年4月に発表した。この新ビジョンに基づき素形材産業に関係する各団体はその具体的な対応策を検討している。

海外雄飛を支援 バリューチェーン形成

今、日本のモノづくり産業は基盤産業のみならず、サービス産業に至るまで、全ての産業がグローバル経済という大きな波にもまれ続けている。大手自動車・家電メーカーや、それに続くティアワン(T1)と呼ばれる

新素形材産業ビジョン

第二章
素形材産業が目指すべき方向性

1. 世界で勝てる技術力を持つ
2. 仕事の幅を広げて、付加価値を高める
3. 魅力的なモノづくりの現場で魅力的な人材を育てる
4. 健全な取引慣行で強靱なサプライチェーンを作る
5. 自らの仕事をもっと世の中に発信する
6. 海外に雄飛し「グローバル企業」を目指す!

のが移転しなければ生産できない」ことである。そのために、先に進出した組み立て企業や部品製造企業は海外進出先で「代理基盤企業」を探すことになるが、実は日系

日本工業大学
専門職大学院 教授
横田 悦一郎

進出企業が求めている能力を持った基盤企業は少なくともアジア地域には皆無に近いほど少ない状況下にある。それが今「日本の基盤産業の素晴らしさ」を再認識させている。



インドネシアでも金型作りが重要視されている

一方、国内需要の減少から国内基盤産業企業は減少の一途をたどっており、このままでは国内でもモノづくりがなくなるかもしれないとの危機感も出始めている。確かに今まで日本の高品質なモノづくりを支えてきた世界でも最も優秀な基盤産業の崩壊は、日本経済の崩壊につながることは間違いない。

このような危機感から、経済産業省は昨年「新素形材産業ビジョン」作りに取りかかり、

れている(図)。

経済産業省が前回素形材産業ビジョンを作ったのは06年であったが、その時のビジョンと今回大きく変わったことは、前回「国内の基盤産業をいかに守り、存続させる」が基本になっていたのが、今回示されたビジョンではそれが大きく変わる。「生き残るためには基盤産業はこれからは『攻め』なければならぬ」ことが基本になっている。

達成するためには今後、企業合併や事業連携を余儀なくされる可能性も高い。加えて海外情報収集や海外展開ノウハウの点は政府や専門家の支援も必要となる。この点について、新ビジョンは明確に「業界や企業を単に守るための支援はしないが、新たな市場に向かって攻めるための支援は行う」と訴えている。

モノづくりプロセスの一貫教育で即戦力を育成

岐阜大学
金型創成技術研究センター
センター長
王 志剛

岐阜大学金型創成技術研究センターは2006年度文部科学省科学技術振興調整費プログラム「地域再生人材創出拠点の形成」の分野で採択されたプロジェクト、次世代金型人材育成拠点の形成を推進するための知の拠点として、岐阜大学に設置された。このプロジェクトは、本学と岐阜県および大垣市との連携の下で、世界に冠たる日本の金型技術の伝承とさらなる高度化を担い得る創造的かつ意欲的な若手技術者の育成を目的としている。

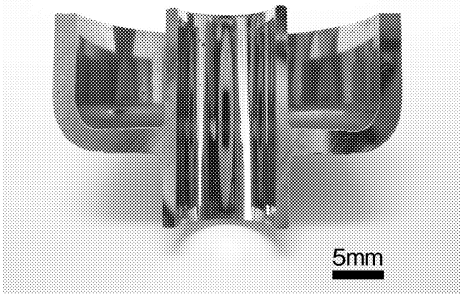
リプロジェクト事業時と同等の教育を実施している。もう一つは、実習を多く取り入れたカリキュラムが学生の支持を得たことだ。予想以上に多くの学生がセンターの教育カリキュラムに興味を示し、履修者全員が熱心に取り組んでくれた。特に、大学院生(博士課程前期)には国際会議での研究成果の発表を義務付けるなど、高いハードルを課している。それらの結果、学生のアンケートでは「やりがいを感じる」「モノづくりは楽しい」「力が付き自信になる」といった声が多く寄せられた。

以上のような高評価を裏付けるものとして、いくつものうれしい成果が生まれつつある。例えば、09年度にスタートした日中韓大学金型グランプリ大会で、センターの学生が製作・出した金型は素人作品の域を超えた実用レベルにあるとの評価を4年連続で産業界からもらった。また、昨

地域連携活動も「サポイン」基軸に

地域社会への貢献として、08年度から大垣商工会議所の要請を受け、センターのカリキュラムを協議所と共同で、中部モ

サポインの成果例



板鍛造によるトリプルカップ

活用した企業技術者への深堀教育を行っている。11年度から各務原商工会議所と共同で、中部モ

プラスチック成形用金型

エンジニアリングプラスチック

高精度複雑形状金型

精密機能部品金型

株式会社岐阜多田精機

〒501-1143 岐阜市東改田字鶴田93番地
TEL (058) 239-2231 FAX (058) 239-8353
http://www.tada.co.jp

大垣、長崎、沖縄、から世界マーケットへ

最先端のモノづくりを支える超精密部品

大垣精工株式会社
株式会社セイコーハイテック

代表取締役 上田 勝弘

本社・工場 大垣市浅西3丁目92-1(名神大垣ICより車で3分)
TEL (0584) 89-5811 FAX (0584) 89-5545
URL http://www.ogakiseiko.co.jp E-mail:osk@ogakiseiko.co.jp

長崎工場 長崎県東彼杵郡東彼杵町八反田郷字胡摩原57-30
TEL (0957) 47-1901 FAX (0957) 47-1902

沖縄工場 沖縄県うるま市勝連南風原5192-30
TEL (098) 989-6640 FAX (098) 989-6641

金型の高付加価値化を支援する超精密加工!

金型生産システムの再構築に最新情報・独創技術を提供し貴社の金型づくりをバックアップします。

モールド型パーツ

プレス金型パーツ

【営業品目】 ●超精密特注金型部品 ●専用機部品、治工具、ゲージ等
●2D・3D 高速マシンニング加工 ●超精密研削加工、試作部品製作等

有限会社サンエス

〒488-0876 尾張旭市平子ヶ丘町二丁目7番地6 TEL (0561) 54-8131(代) FAX (0561) 54-9162
URL http://www.3-esu.co.jp Eメール info@3-esu.co.jp

静かなる重切削

サイレントラフィング
エンドミルシリーズ

ツールコミュニケーション
オーエスジー

〒442-8543 愛知県豊川市本野ヶ原3-22 TEL(0533)82-1111 FAX(0533)82-1131
東部営業部 TEL (03)6709-4501 中部営業部 TEL(052)703-6131 西部営業部 TEL(06)6538-3880
ホームページ http://www.osg.co.jp/

【営業品目】 ●超精密特注金型部品 ●専用機部品、治工具、ゲージ等
●2D・3D 高速マシンニング加工 ●超精密研削加工、試作部品製作等

有限会社サンエス

〒488-0876 尾張旭市平子ヶ丘町二丁目7番地6 TEL (0561) 54-8131(代) FAX (0561) 54-9162
URL http://www.3-esu.co.jp Eメール info@3-esu.co.jp